答申書

平成24年2月24日

北斗市新幹線新駅周辺空間デザイン審議会

北斗市新幹線新駅周辺空間デザイン審議会 会長 韮 澤 憲 吉

新幹線新駅周辺空間デザインに関する決定事項について(答申)

平成21年2月2日開催の第1回北斗市新幹線新駅周辺空間デザイン審議会で諮問のあったこのことについて、当審議会で審議の結果、下記の項目について次のとおり決定しましたので、別添付帯意見を添えて答申します。

記

新幹線新駅周辺における都市デザイン等について

- ・新幹線新駅周辺まちなみデザインコンセプト
- ・主要施設の整備方針
- ・ゾーニング
- 新駅周辺土地利用計画
- ・主要施設の空間設計

新幹線新駅駅舎のデザイン等について

- ・新幹線新駅駅舎デザインコンセプト
- ・新幹線新駅駅舎デザイン案

以上

新幹線新駅周辺における都市デザイン等について

新幹線新駅周辺まちなみデザインコンセプト

北の大地のエントランス ~ 大空の下 自然と共存する やさしいまち ~

広々とした大空の下、開放感あふれる田園風景と調和し、のんびり・ゆったりとして都会から来た人をも家族のような やさしさで迎え入れてくれる。そんな大野平野の風土を感じさせ、自然と共存するまちをイメージしている。

『エントランス』という言葉で、北海道の玄関口という最大の特性を全面に出し、全国各地からの乗降客を歓迎し、 人々が交流し、賑わいがある場所というイメージを表している。

また、『大空の下』という言葉で、開放感を引き立たせ、『自然と共存する』という言葉で自然があふれ、まちの随所に 緑があるイメージを表現している。

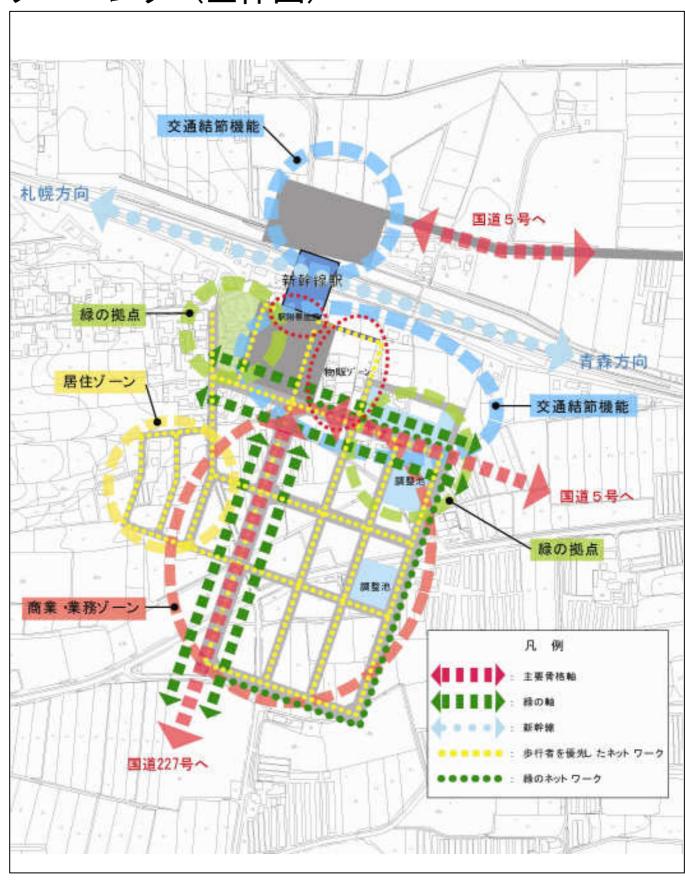
さらに、『共存』という言葉には、自然のエネルギーを活用(自然から人へ)しながら、環境に配慮する(人から自然へ) 『エコ』の意味も含まれている。

『やさしいまち』という言葉には、ユニバーサルデザイン(誰にでも対応できるデザイン)を取り入れ、人にやさしいまちという意味と、環境に配慮することで自然にもやさしいまちという意味が含まれている。

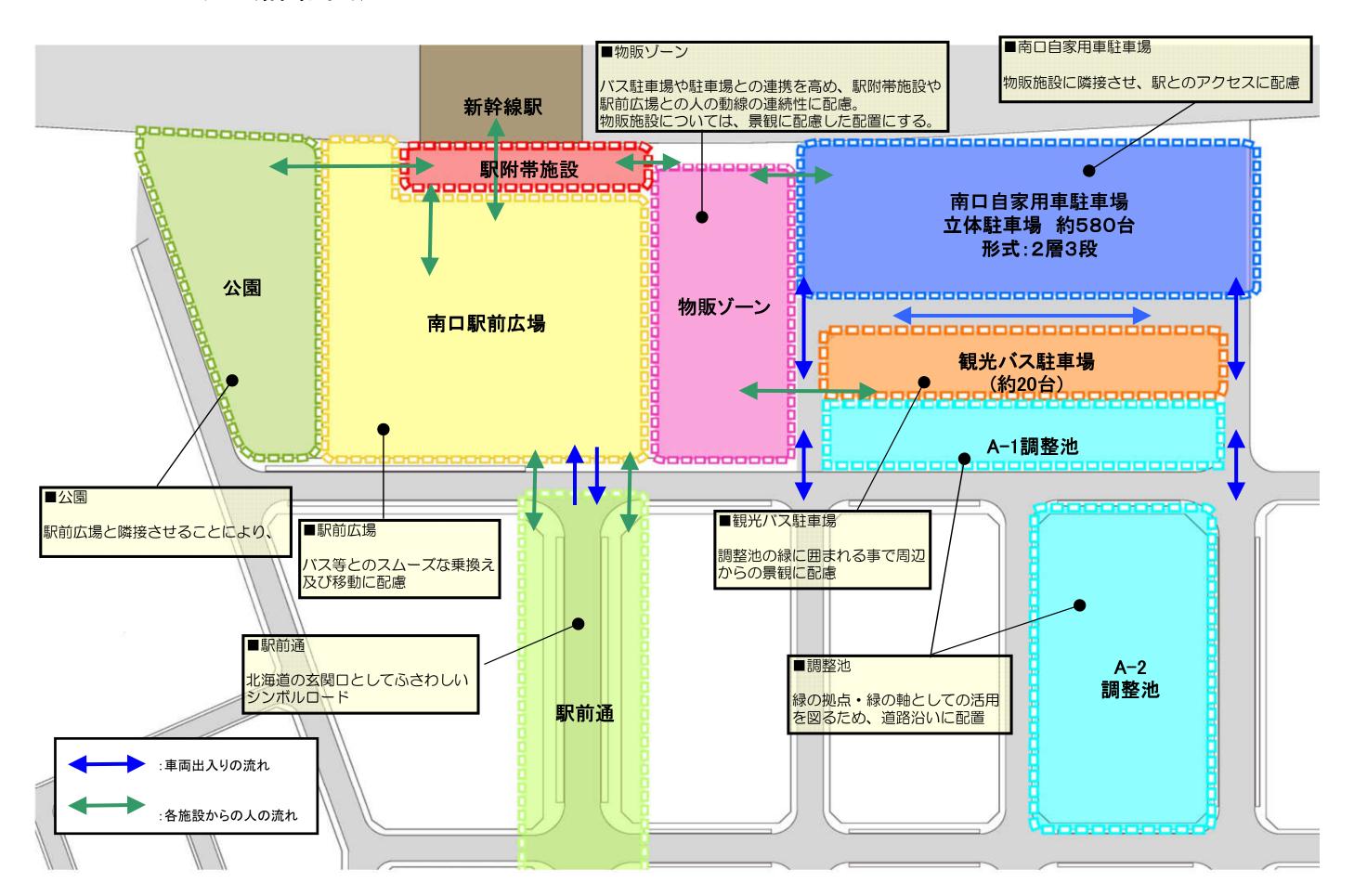
新幹線新駅周辺における都市デザイン等について 主要施設の整備方針

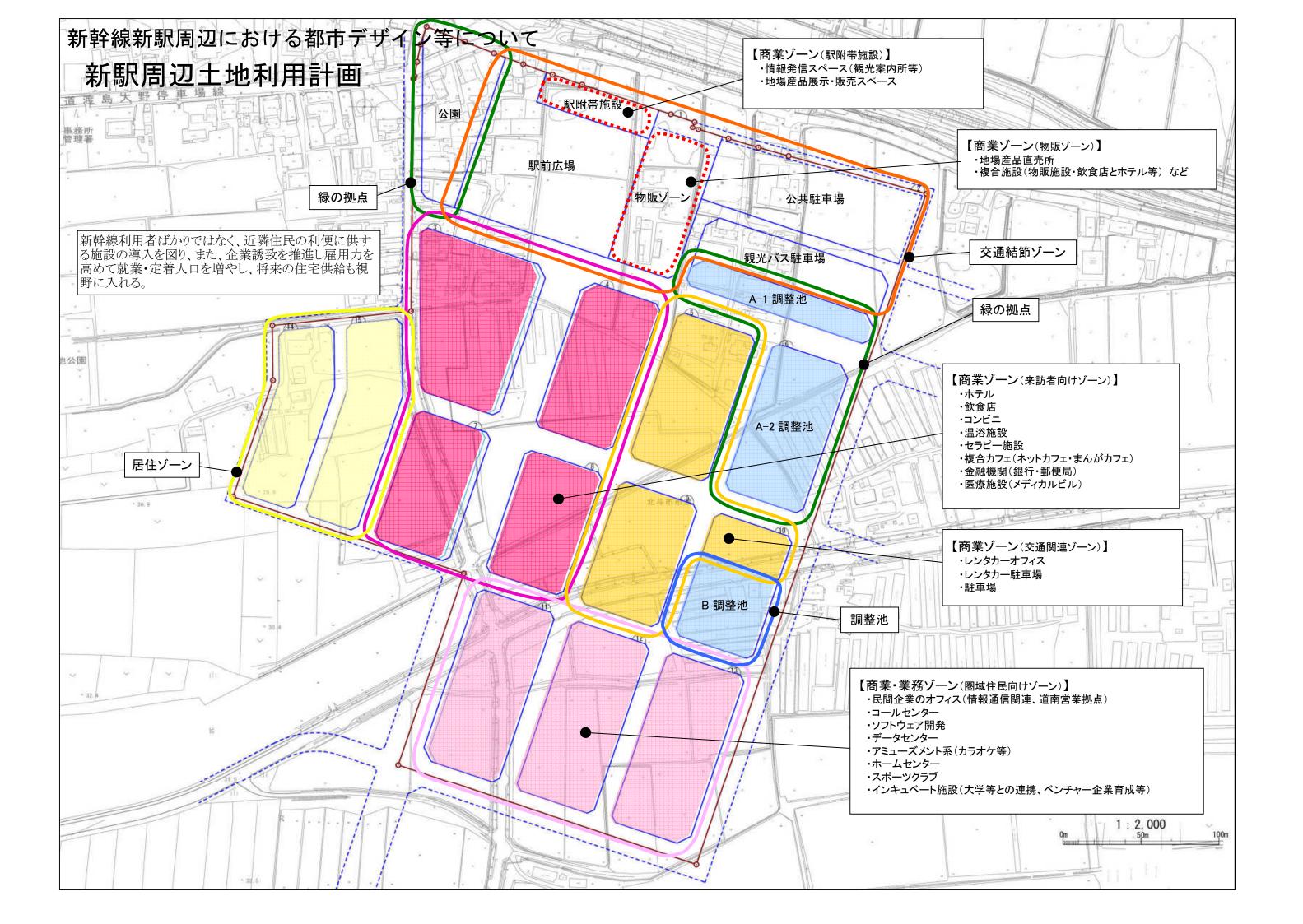
項目	利用を考慮した整備の考え方	施設や空間の規模・形状・配置等 の設定の考え方	景観デザインの考え方	コスト縮減の考え方	細部設計、材料選定の 考え方
1. 駅前広場 (南口・北口)	・バス等とのスムーズな乗換え及び 移動に配慮・公園との一体感を意識・悪天候、冬期利用に配慮	・乗降客数に応じた広場規模 ・歩車分離、歩行者動線の交錯防止 ・わかりやすい動線	・駅舎、公園、駅前通などとの景観的調和 ・公園と一体的に感じられる、緑の連続性の創出 ・まちのシンボル性の創出	・機能性を重視した舗装や照明 ・効果的な植栽配置 ・エコロジーに配慮	・コスト縮減の考え方を踏まえ、 機能性を重視し、質感が高くデ ザイン性のあるものを選定する
2.公園	・駅利用者及び市民が、緑を感じ、憩える場	・駅前広場と隣接させることで、ゆったりとした空間を創出	・地域の自然、緑が感じられる空間		・緑、自然を重視したしつらえにする・汚れにくいものや変色が少ないなど、美観を保持しやすい材質を使用する
3. 駅前通	・北海道の玄関口としてふさわしい、シンボルロード・多様なイベント機会の創出を想定した歩道	・主要動線としての整備・歩道空間の幅員に配慮	・開放感があり、すっきりとした街並み 景観の創出 ・並木など、緑の連続性の創出		・シンボル軸として相応しい景観を創出するしつらえにする
4.駐車場 (南口・北口)	・駅と近接させ利便性を高める・悪天候、冬期利用に配慮	約 1, 100 台の需要対応立体駐車場の検討わかりやすい案内	・駐車場が前面にでないしつらえの工夫	・機能性を重視した舗装 ・エコロジーに配慮 ・民間活力の一部導入の検討	・駅周辺からの眺望に対し、圧迫 感を生み出さない仕様にする ・汚れにくいものや変色が少ない など、美観を保持しやすい材質 を使用する
5. 駅附帯施設	・駅利用者の利便に供する機能 ・市民が利用できるスペースの提供 ・駅利用者及び市民が憩える滞留スペ ースの提供	・駅舎、駅前広場との、人の動線の連続性への配慮・限られた共有空間での必要最小限の規模	・駅舎と一体的な外観デザイン・眺望に配慮	・エコロジーに配慮	・駅周辺からの眺望に対し、圧迫 感を生み出さない仕様にする 一・原色を用いた派手な色彩を大面 積で使用しないようにする
6. 駅前物販施設	物販機能の導入駅利用者と市民によるにぎわいの 創出	・バス駐車場や駐車場との連携を高め、 駅附帯施設や駅前広場との、人の動線の 連続性に配慮		・民間活力の導入の検討 ・エコロジーに配慮	
7. 調整池	・緑や憩いが感じられ、駅利用者だけ でなく市民も利用可能な憩い空間 を創出	・排水流域を考慮して、分散配置	・駅利用者や市民が憩える、緑が感じられる空間	・効果的な植栽配置	・緑、自然を重視したしつらえにする・汚れにくいものや変色が少ないなど、美観を保持しやすい材質を使用する

新幹線新駅周辺における都市デザイン等について ゾーニング (全体図)



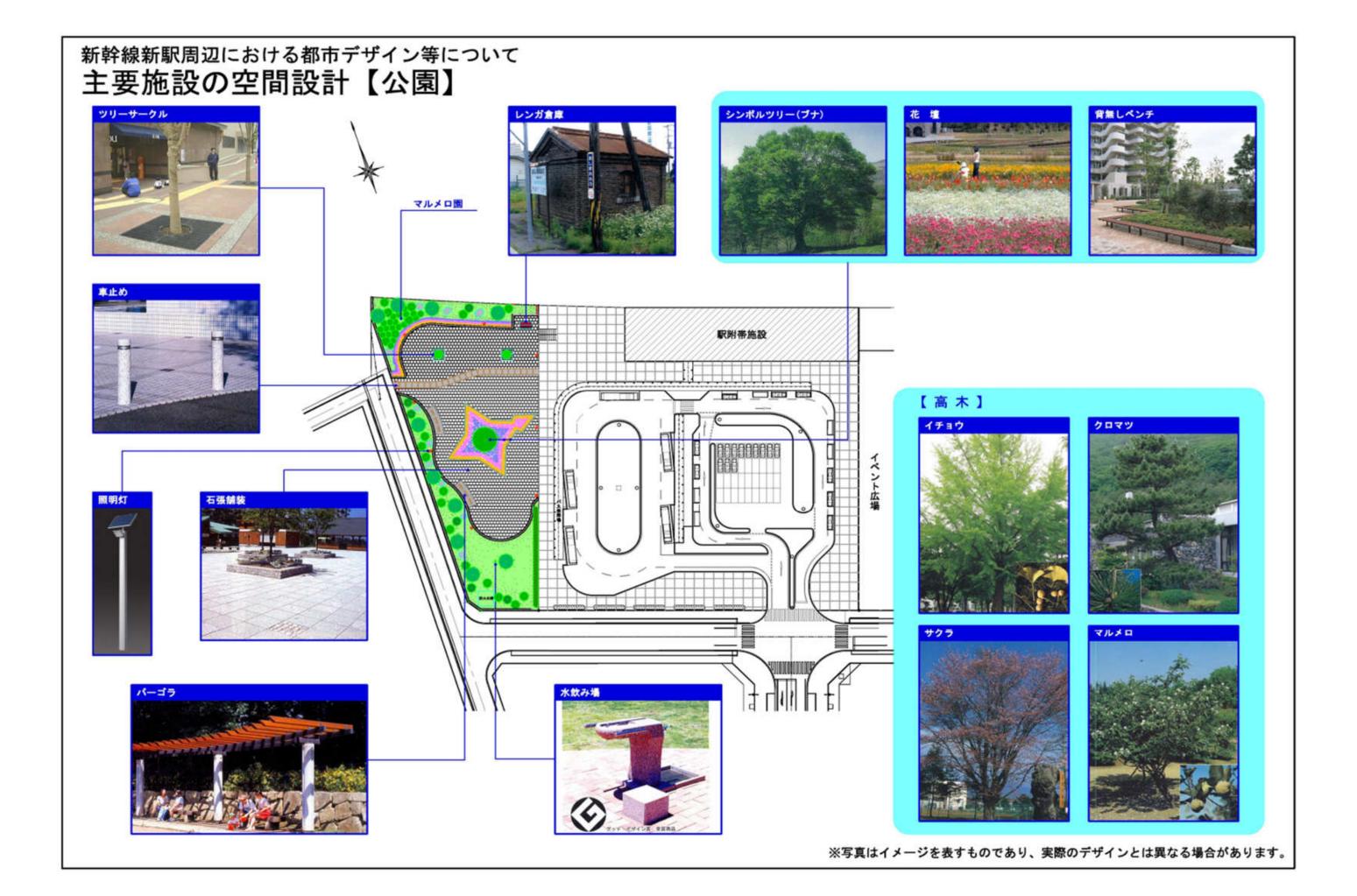
新幹線新駅周辺における都市デザイン等について ゾーニング (詳細図)





新幹線新駅周辺における都市デザイン等について 主要施設の空間設計【駅前広場】 タクシー乗降場 シェルター(夜) 車道用照明灯

※写真はイメージを表すものであり、実際のデザインとは異なる場合があります。



新幹線新駅周辺における都市デザイン等について 主要施設の空間設計 【駅前広場・公園 イメージパース図】

